

広報 いずも

第72号 平成20年(2008)3月13日発行

目次

子育てしやすいまちづくりに向けて	2~3
4月からパスポート申請・受取を開始します	4
えこ~つうしん	6~7
お知らせ	13~15

「応急手当」公開授業

私が最初の救急隊員



消防職員から教わった方法で、ダミー人形を使って胸骨圧迫を行う児童。「強く」「早く」「絶え間なく」するのがコツです(2月26日 高松小学校)

2月26日、救急学習モデル校の高松小学校で、応急手当について学習する公開授業が開かれました。指導にあたったのは、応急手当普及員の資格を持つ教員と市消防職員で、4年~6年生各1クラスの児童に119番通報の仕方や応急手当の重要性、心肺蘇生法を指導しました。

このうち、6年生の授業では、心肺蘇生法を学習。消防本部が作製したビデオで一連の流れを確認したあと、2人1組になった児童は、ダミー人形を使って、人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法を学びました。

いざという時に、最初の救急隊員として自分でもできるという自信を身につけたと同時に、命の大切さも学ぶことができました。

応急手当普及員とは

児童生徒に応急手当について指導するほか、教員間が安全意識に対する共通認識を持ち、学校内における事故やけがに速やかに対処することを目的として配置するものです。現在、市内の小中学校の教員20人が応急手当普及員の資格を取得しています。今後は、小中学校全校に応急手当普及員の配置を目指します。